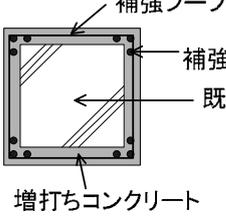
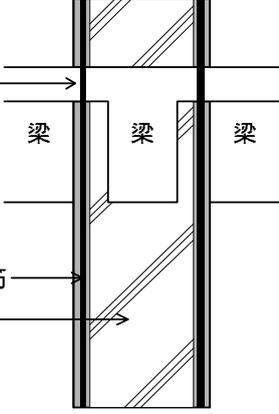


最終更新日 H24.10.24
改修技術 No. 13102101

性能分野	耐震性
大分類	耐震性の向上
中分類	靱性型の補強 [柱の補強]
技術の名称	柱の RC 巻き立て補強
改修技術の概要	<ul style="list-style-type: none"> 柱の靱性を高める目的で、既存の柱の外周部を 100～150mm 程度の厚さの鉄筋コンクリートで巻き立てて柱の断面積を増大させて補強する工法。 床上から梁下までの部分のみ補強してせん断耐力の増大を図る場合と、床スラブを貫通して配筋・コンクリートを打設してパネルゾーンの補強をあわせて行い、曲げ・せん断・軸耐力の増大を図る場合がある。 鋼板巻き立て補強などと比べて重量増分が大きい。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>増打ちコンクリート (断面図)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(立面図)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>RC 巻き立て補強柱(この事例ではパネルゾーンは補強していない)</p> </div> </div> <p>手順：</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <pre> graph TD A[既存仕上げ撤去] --> B[躯体表面目荒し] B --> C[ひび割れ補修 *1] C --> D[補強鉄筋建込み] D --> E[コンクリート打設] E --> F[仕上げ] </pre> </div> <div style="flex: 1; padding-left: 20px;"> <p>*1：既存躯体に構造ひび割れがある場合、樹脂注入工法によりひび割れを補修する</p> <p>工期は、鋼板巻き立て補強に比べて長い。</p> </div> </div> <p>耐震改修に利用される工法と適用される部位は建物の現状を踏まえて耐震改修を設計する中で決められる。</p>

